

1. 超高齢社会における施策の充実を

開成町の人口は、昨年10月に17,390人となり、65歳以上の高齢者は4,241人で高齢化率は24.4%だった。そのうち、後期高齢者といわれる75歳以上の人口は2,019人で、総人口の11.6%となっている。

開成町では、「健やかにいきいきと、自分らしく暮らせる生涯福祉のまちづくり」を基本理念として『開成町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』を推進している。特に、基本理念を踏まえる意味から、人生の終末期である「死」を見据えて、心身ともに健康である時に、個人でまたは家族で考え、行動を起こしていくことが必要な時代であると考える。

その助けとなるものとして、「エンディングノート」がある。このノートには、人生を振り返りながら、自分自身の情報をまとめ、これから目標や希望も記入し、最後をどのように向かえたいのかを書き込む形となっている。

さらに、町内在住の高齢者に対する施策の充実を図ることは、急を要する課題である。

- ① 行政サービスの情報を付加した、町独自の「エンディングノート」を作成することは。
- ② 生涯学習の充実を図り、シニア世代の就業・起業・地域活動支援の体制整備が必要と考えるが。